

(1) 活動内容

○3年 Lesson 4 A Man's Life in Bhutan (「分詞による名詞句の修飾」の学習の中の2時間)

○1時間目：ALTとのTTで、「聞く」活動

2時間目：前時のふりかえりと確認として、「読む」活動・「書く」活動

○具体的な活動

【1時間目】

① 活動の仕方についてのALTが説明する。

② 6つのグループを作り、班に1枚ずつワークシートを配布する。

③ 配布されたワークシートに班員の名前を記入させる。

④ それぞれの問題ごとに、生徒は次の活動を行う。

・ALTの言う英語を聞き、ワークシートに示された絵の中から、その英語が表している部分を見つけ、○をつける。

・班の代表者は、○を付けたワークシートをJTEに見せ、チェックを受け得点を記入してもらう。

得点は、早く正解した順に6、5、4、3、2、1点とする。その際、JTEは教室の中を適宜移動して、不公平感を与えないようにする。

⑤ すべての班が正解したら、次の問題に移る。

⑥ 最後の問題が終了したら、班ごとの総得点を集計し、優勝グループを決定する。

【2時間目】

① 個人用のワークシートを配布する。

② 各自でワークシートに取り組む。

③ 解答を確認する。

④ 日本語の意味を確認する。

⑤ 音読をする。

⑥ 英文和訳・和文英訳の問題を、練習として行う。

(2) 成果・課題

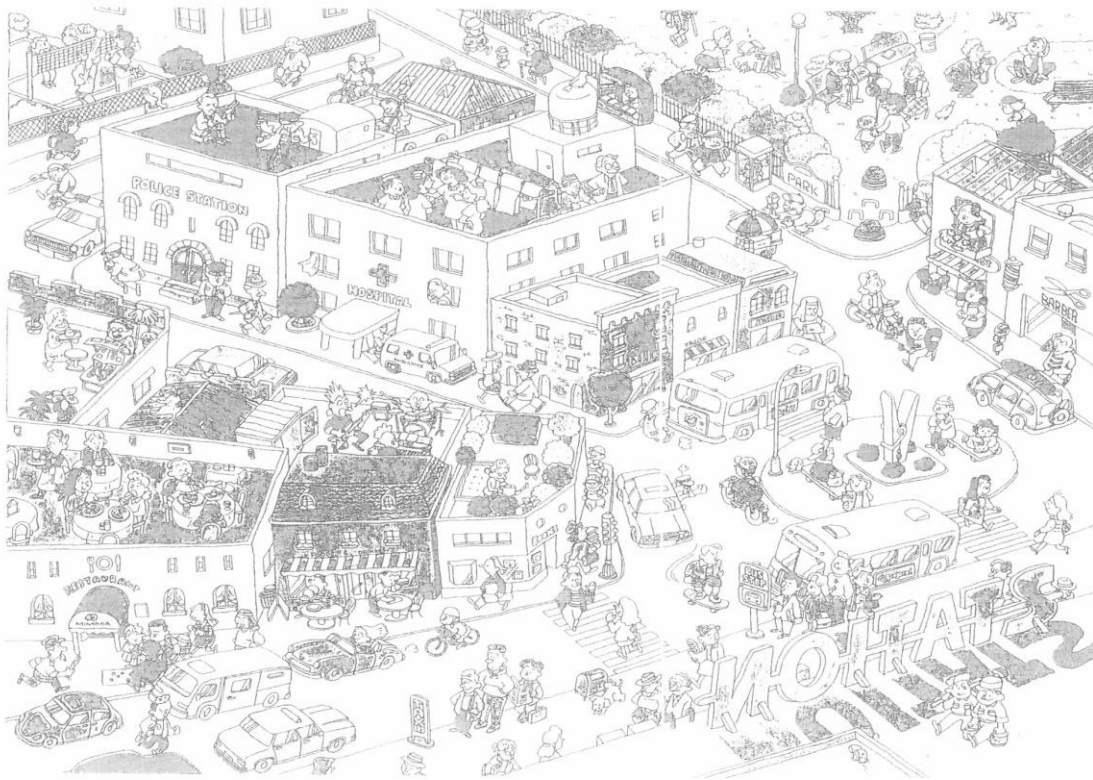
1時間目のALTとの授業では、ALTの話す英語を集中して聞くことができた。また、グループでの活動であるので、友達と協力して活動を行うことができていたが、英語の得意な生徒が中心になって活動し、他人任せになっている生徒も見られた。グループの人数を少なくする(グループの数を増やす)ことで、「自分で考えなければ」感が高まるはずだが、その分、JTEによるチェックに時間がかかると思われる。

2時間目の授業では、前時のふりかえりと確認として、個人のワークシートを使って学習をした。週に1回のALTの授業は、ゲーム的な要素が強い活動を行うことが多く、生徒が楽しんで取り組む様子が見られる。また、生徒が英語を聞いたり話したりすることも、通常の授業に比べ多くなるので、「コミュニケーション」のためには大切な時間である。その反面、「一人ひとりが『正しく』できる・わかる」ことは後回しになりがちであることも(個人の反省として)感じている。ただ「楽しかった、面白かった、たくさん話した」で終わらせてしまうのは、限られた授業時間の面においてももったいないことである。ALTとの授業が、生徒にとって、楽しく、しかも、正しく表現・理解する力に直接つながるものになるよう、その意義や価値を意識させる場をもつことが必要であると思う。

《グループ用 ワークシート》

Many people, many things in a town !

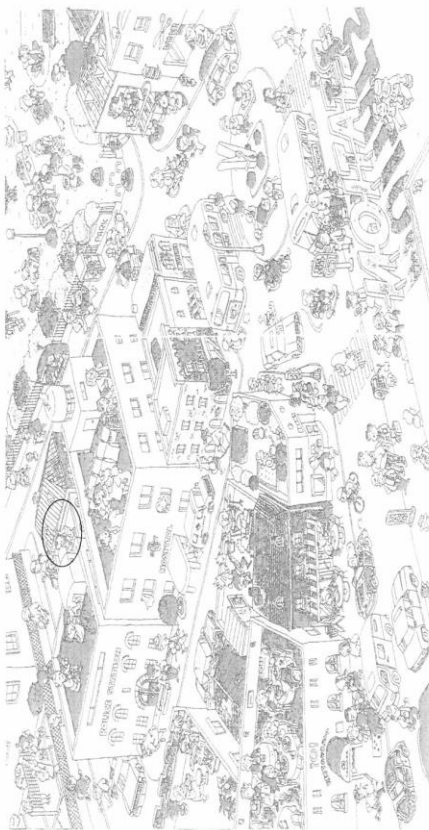
members							
---------	--	--	--	--	--	--	--



Class	Team
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	

《個人用 ワークシート》

Many people, many things in a town ! Name



- | | |
|--------------------|------------|
| ① a girl | jump |
| ② a book | put |
| ③ a cat | sleep |
| ④ nurses | talk |
| ⑤ a man | play |
| ⑥ a car | drive |
| ⑦ a boy | run |
| ⑧ a newspaper | read / sit |
| ⑨ a woman | walk |
| ⑩ a mother | carry |
| ⑪ an elderly woman | water |
| ⑫ a tall man | wait |
| ⑬ some balloons | keep |
| ⑭ a man | run |
| ⑮ a person | carry |
| ⑯ pizza | be |

Japanese ⇄ English

- (1) The car driven by a girl with long hair is very cool.
- (2) チェロを弾いているその男の人は有名な音楽家です。
- The musician.